

電気工事届_電気工事設計書の記入方法について

2019年6月
北海道電力株式会社



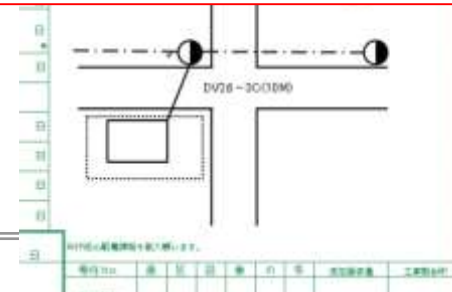
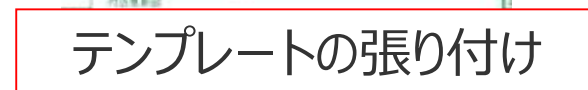
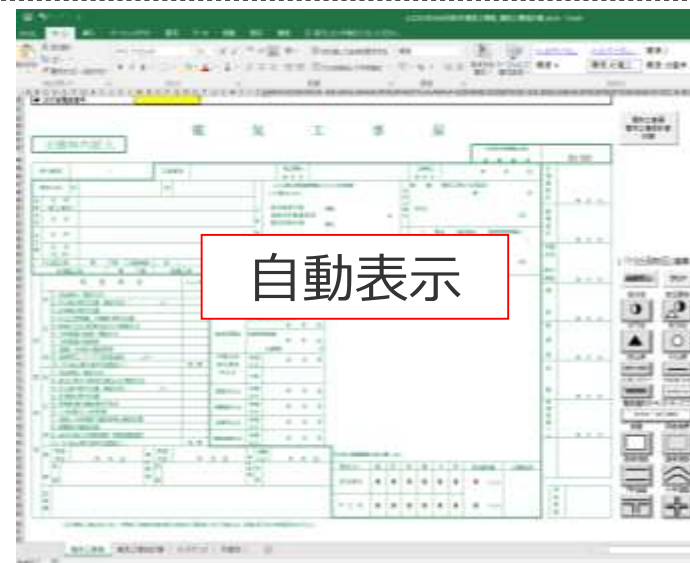
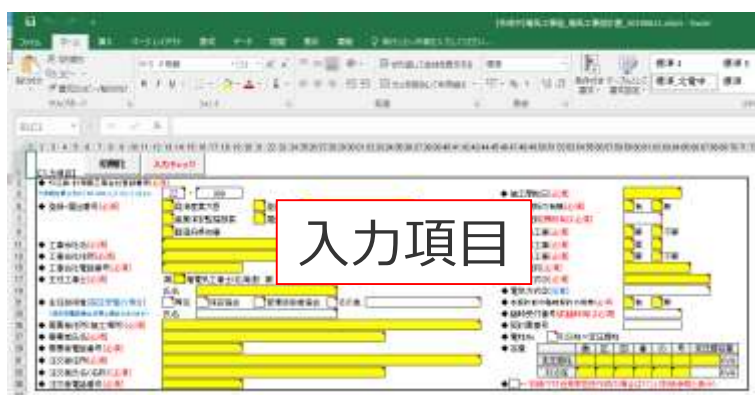
目次

1	電気工事届_電気工事設計書の概要	3
2-1	電気工事届について	4
2-2	A入力項目エリア	5
2-3	B電気工事届帳票エリア C補助機能エリア	8
3-1	電気工事設計書について	9
3-2	A入力項目エリア	10
3-3	B電気工事設計書帳票エリア C補助機能ボタンエリア	11

1 電気工事届_電気工事設計書の概要

電子帳票化の概要

- 電子帳票は、現行の電気工事届と電気工事設計書を電子化したもので、従来どおりの入力内容となります。
- 電子帳票は、Excel (.xlsm, Excel2007-2016マクロ有効ブック) にて作成しています。
- 入力項目は、電気工事届帳票と電気工事設計書帳票へ自動表示します。
- 付近見取図や電気工事設計書の内容は、補助機能にて画像取込やテンプレートの張り付けが可能です。



2-2 A入力項目エリア

入力項目エリアについて

① 初期化

② 入力チェック

※入力チェックエラーでも保存可能

③ [入力項目]

- ◆ 引込線・計測器工事会社登録番号[必須] [] - []
※非組合員の方は「ZZ-999」と入力してください
- ◆ 登録・届出番号[必須] [] 号
 [] 経済産業大臣 [] 登録
 [] 産業保安監督部長 [] 届出
 [] 都道府県知事
- ◆ 工事会社名[必須] []
- ◆ 工事会社住所[必須] []
- ◆ 工事会社電話番号[必須] []
- ◆ 主任工事士[必須] 第 [] 種電気工事士(北海道) 第 [] 号
 氏名 []
- ◆ 主任技術者[高圧受電の場合] 専任 保安協会 管理技術者協会 その他 []
(低圧発電設備が必要な場合があります)
 氏名 []
- ◆ 需要者住所(施工場所)[必須] []
- ◆ 需要者氏名[必須] []
- ◆ 需要者電話番号[必須] []
- ◆ 注文者住所[必須] []
- ◆ 注文者氏名(名称)[必須] []
- ◆ 注文者電話番号[必須] []

- ◆ 施工開始日[必須] []
- ◆ 道路横断の有無[必須] 有 無
- ◆ 道路種別[横断有は必須] []
- ◆ 引込線工事[必須] 要 不要
- ◆ 計測器工事[必須] 要 不要
- ◆ 配電線工事[必須] 要 不要
- ◆ 工事種別[必須] []
- ◆ 電気方式①[必須] []
- ◆ 電気方式②[任意] []
- ◆ 本契約前の臨時契約の有無[必須] 有 無
- ◆ 臨時受付番号[臨時有は必須] []
- ◆ 契約票番号[任意] []
- ◆ 電柱No. 引込柱=変圧器柱 ※新たに建柱が必要な場合は入力不要

	画	区	図	番	の	号	変圧器容量
変圧器柱	[]	[]	[]	[]	[]	[]	KVA
引込柱	[]	[]	[]	[]	[]	[]	KVA

◆ ←別紙で付近見取図を作成の場合は「○」(別紙参照と表示)

説明

①初期化ボタン	入力済みの項目を削除し、初期化します。 ※ただし、工事会社情報は繰り返し使用することが想定されるため、削除しません。
②入力チェックボタン	入力必須箇所に入力されているかチェックします。 ※保存前に必ず「入力チェック」ボタンを押して、エラーがないことを確認してください。
③入力項目	入力項目箇所は背景色が黄色となっており、入力すると、背景色は白色になります。 カーソルをあてると、入力方法のコメント表示がされるので内容を確認し、直接入力もしくはプルダウンにて選択入力してください。

2-2 A入力項目エリア

入力項目 (1/2)

◆ 引込線・計測器工事会社登録番号**[必須]**
※非組合員の方は「ZZ-999」と入力してください [] - []

◆ 登録・届出番号**[必須]**
 経済産業大臣 登録 []
 産業保安監督部長 届出 []
 都道府県知事 []

◆ 工事会社名**[必須]** []

◆ 工事会社住所**[必須]** []

◆ 工事会社電話番号**[必須]** []

◆ 主任工事士**[必須]**
 第 [] 種電気工事士(北海道) 第 [] 号
 氏名 []

◆ 主任技術者**[高圧受電の場合]**
(低圧発電設備は必要な場合があります)
 専任 保安協会 管理技術者協会 その他 []
 氏名 []

◆ 需要者住所(施工場所)**[必須]** []

◆ 需要者氏名**[必須]** []

◆ 需要者電話番号**[必須]** []

◆ 注文者住所**[必須]** []

◆ 注文者氏名(名称)**[必須]** []

◆ 注文者電話番号**[必須]** []

①

②

③

説明

(必須項目：赤字、任意項目：青字)

引込線・計測器工事会社登録番号	登録されている番号を入力してください。工事組合非加盟店さまの場合は、「ZZ-999」と入力してください。
登録・届出番号	登録・届出されている種別や番号を入力してください。
工事会社名	工事会社名を入力してください。
① 工事会社住所	工事会社住所を入力してください。
工事会社電話番号	工事会社電話番号を入力してください。
主任工事士	主任電気工事士の資格情報、氏名を入力してください。
主任技術者 ※該当する場合のみ記入	高圧受電の場合、主任技術者の所属会社、氏名を入力してください。
需要者住所(施工場所)	需要者住所(施工場所)を入力してください。
② 需要者氏名	需要者氏名を入力してください。
需要者電話番号	需要者電話番号を入力してください。
注文者住所	注文者住所(ハウスメーカーや建築会社等)を入力してください。
③ 注文者氏名	注文者氏名(ハウスメーカーや建築会社等)を入力してください。
注文者電話番号	注文者電話番号(ハウスメーカーや建築会社等)を入力してください。

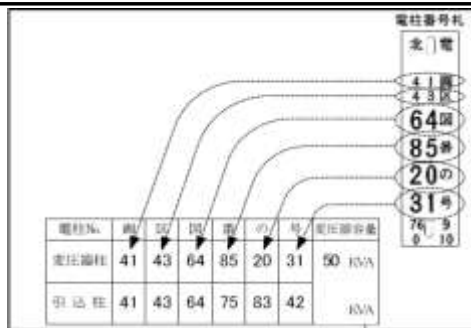
2-2 A入力項目エリア

入力項目 (2/2)

- ◆ 施工開始日[必須]
- ◆ 道路横断の有無[必須] 有 無
- ◆ 道路種別[横断有は必須]
- ◆ 引込線工事[必須] 要 不要
- ◆ 計測器工事[必須] 要 不要
- ◆ 配電線工事[必須] 要 不要
- ◆ 工事種別[必須]
- ◆ 電気方式①[必須]
- ◆ 電気方式②[任意]
- ◆ 本契約前の臨時契約の有無[必須] 有 無
- ◆ 臨時受付番号[臨時有は必須]
- ◆ 契約票番号[任意]
- ◆ 電柱No. 引込柱=変圧器柱 ※新たに建柱が必要な場合は入力不要

容量	画	区	図	番	の	号	変圧器容量
変圧器柱	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	KVA
引込柱	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	KVA

⑤ ← 別紙で付近見取図を作成の場合は「○」(別紙参照と表示)



説明

(必須項目：赤字、任意項目：青字)

施工開始日	電気工事の施工開始日を入力してください。
道路横断の有無	引込線が道路横断する場合は、「有」に○を、横断しない場合は、「無」に○を選択してください。
道路種別 ※道路横断有の場合は必須	引込線が道路横断する場合は、道路種別を選択してください。
引込線工事 計測器工事 配電線工事	各種工事の「要」「不要」どちらかに○を選択してください。(配電線工事=外線工事)
工事種別	該当する工事種別を選択してください。
電気方式①	該当する電気方式を選択してください。
④ 電気方式②	電気方式が2つある場合は、2つ目の電気方式を選択してください。
本契約前の臨時契約の有無	同一需要場所での、本契約前の臨時契約の「有」「無」どちらかに○を選択してください。
臨時受付番号 ※本契約前の臨時契約有の場合は必須	臨時契約の「電気使用申込書」の受付番号または「臨時電灯(電力)契約票」の発行番号を入力してください。
契約票番号	電柱No. 変圧器容量を入力してください。 ※新たに建柱が必要となる場合は記載不要 引込柱と変圧器柱が同一の場合、「引込線=変圧器柱」に○を選択してください。 引込柱に「//」が表示されます。 変圧器容量には、上段に電灯変圧器容量を記入し、動力変圧器がある場合は下段に入力してください。
電柱No. 容量	別紙で付近見取図を作成の場合は「○」を選択してください。付近見取図に別紙参照と表示されます。
⑤ 別紙参照表示	

2-3 B電気工事届帳票エリア C補助機能エリア

②電気工事届帳票エリア ③補助機能ボタンエリアについて

①

電 気 工 事 届

太線枠内記入

受付番号	-	工事種別	-	引込線・計測器届会社 登録番号	-
電気方式	①	②	この工事は関係諸規程ならびに本社様書により施工します。		
お客さま 住所 (施工場所) 氏名	経済産業大臣 登録 産業保安監督部長 都道府県知事 届出		第 種 電気工事士(北海道) 第 号 (氏名)	印	計測器設計 年 月 日
注文者 住所 氏名 (名称)	(会社名) (住所)		(専任、保安協会、管理技術者協会、 その他) (氏名)	印	配電設計 年 月 日
引込線工事	要 不要	道路横断	有 () 無 ()	TEL	中間点検・部分調査 年 月 日

照 査 項 目	チェック欄	有・無	付近見取図
1. 供給電力、電気方式			<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>補助機能ボタンにて作成可能</p> </div>
2. 引込線の取付位置、施設状況 (m)			
3. 計測器の取付位置			
4. 引込口受電盤、分電盤の取付位置			
5. 幹線(引込口配線を含む)の電線太さ			
6. 分岐回路の容量、電線太さ			
7. 分岐回路の回路数			
8. 漏電しゃ断器の施設要否			
9. 進相用コンデンサの容量適否 (μF)			
10. その他必要な事項(図面記入)	有、無		

(注)電気工事会社において電気工事業法第26条に規定する帳簿に代える場合は、記載の日から5年間保存すること。

②
電気工事届
電気工事設計書
印刷

③
「付近見取図」編集
画像取込 クリア

④

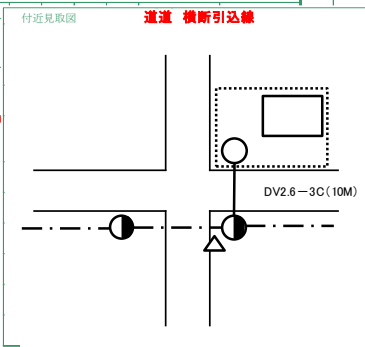
変圧器柱
先方柱
引込線
メッセジャー
電線種別テストボックス
DV2.6-3C(10M)
家屋
直線道路
T字道路

変圧器柱
先方柱
引込線
メッセジャー
電線種別テストボックス
DV2.6-3C(10M)
家屋
直線道路
T字道路

説 明

- | | |
|--------------------|---|
| ①電気工事届帳票イメージ | 入力項目を自動表示します。 |
| ②電気工事届電気工事設計書印刷ボタン | 印刷ボタンを押すと、電気工事届と電気工事設計書がセットで2部印刷されます。 |
| ③画像取込ボタン | ボタン押下し、画像データを選択することで、付近見取図エリアに画像取込ができます。 |
| クリアボタン | ボタン押下すると付近見取図エリアの画像を削除できます。 |
| ④補助機能ボタン | 各種ボタンを押下すると付近見取図エリアにテンプレートを貼り付けることができます。張り付け後は、任意に追加・削除・入力等を行い編集してください。 |

＜ポイント＞
付近見取図は、電気工事を行う建物の位置、付近の配電線路および付近の目標を記載してください。



3-1 電気工事設計書について

Excelシートは、「電気工事届」と「電気工事設計書」のシートに分かれています。電気工事設計書は、2つのエリアで構成されています。



初期化

◆ 工事会社[必須] ◆ 分岐回路数算定内訳[任意] 建物の種類

床面積①	m ²	m ²
標準VA数	VA	VA
総VA数	VA	VA
床面積②	m ²	m ²
標準VA数	VA	VA
総VA数	VA	VA
加算VA数	VA	VA
総VA数(合計)	VA	VA
回路数	以上	以上

A 入力項目エリア

◆ 別紙で電気工事設計書を作成の場合は「O」(別紙参照と表示)

各エリア説明

A 入力項目エリア

- 電気工事設計書の各種入力項目を直接入力または選択入力することができます。
- 上段に「初期化」ボタンがあります。

電気工事設計書

工事会社		建物の種類			1. 引込線の取付位置を変更して下さい	6. 幹線の電線を太くして下さい (mm以上)
住所 (施工場所)		床面積①	m ²	m ²	2. 計器の取付位置を変更して下さい	7. 開閉器容量を大きくして下さい (A以上)
氏名	氏名	標準VA数	VA	VA	3. 分岐回路数が不足です (回路以上)	8. 分岐開閉器を配線用しゃ断器にして下さい
		総VA数	VA	VA	4. 分岐回路数算定内訳を記入して下さい	9. 進相コンデンサの容量が不適当です (μ F)
記事欄		床面積②	m ²	m ²	5. 幹線の太さを記入して下さい	10. その他は直接図面に記入してあります
		標準VA数	VA	VA		
		加算VA数	VA	VA		
		総VA数(合計)	VA	VA		
		回路数	以上	以上		

B 電気工事設計書帳票エリア

「電気工事設計書」編集 |

画像取込 クリア

C 補助機能ボタンエリア

5. 共架/建物 6. 共架/先方柱

7. メッセン/建物(横断なし) 8. メッセン/建物(横断あり)

9. メッセン/先方柱(横断なし) 10. メッセン/先方柱(横断あり)

「単線結線図」編集 |

2回路 4回路 6回路 8回路 10回路

12回路 14回路 16回路 18回路 20回路

B 電気工事設計書帳票エリア

- 入力項目の内容が、電気工事設計書帳票エリアに自動表示されます。

C 補助機能ボタンエリア

- 帳票印刷や画像取込、テンプレートの張り付けができます。

3-2 A入力項目エリア

入力項目について

①

初期化

【入力項目】

②

◆ 工事会社[必須]

◆ 住所(施工場所)[必須]

◆ 氏名[必須]

③

◆ 記事欄[任意]

④

◆ ← 別紙で電気工事設計書を作成の場合は「○」(別紙参照と表示)

⑤

◆ 分岐回路数算定内訳[任意]

建物の種類			
標準	床面積①	m ³	m ³
	標準VA数	VA	VA
	総VA数	VA	VA
部分	床面積①	m ³	m ³
	標準VA数	VA	VA
	総VA数	VA	VA
加算VA数		VA	VA
総VA数(合計)		VA	VA
回路数		以上	以上

説明

(必須項目：赤字、任意項目：青字)

①	初期化ボタン	入力済みの項目を削除し、初期化します。
②	・工事会社 ・住所(施工場所) ・氏名	電気工事届にて入力済みの場合は、自動表示されますので内容を確認し、相違がある場合は直接入力してください。
③	記事欄	直接入力してください。
④	別紙参照表示	別紙で付近見取図を作成の場合は「○」を選択してください。付近見取図に別紙参照と表示されます。
⑤	分岐回路数算定内訳	算定内訳を直接入力してください

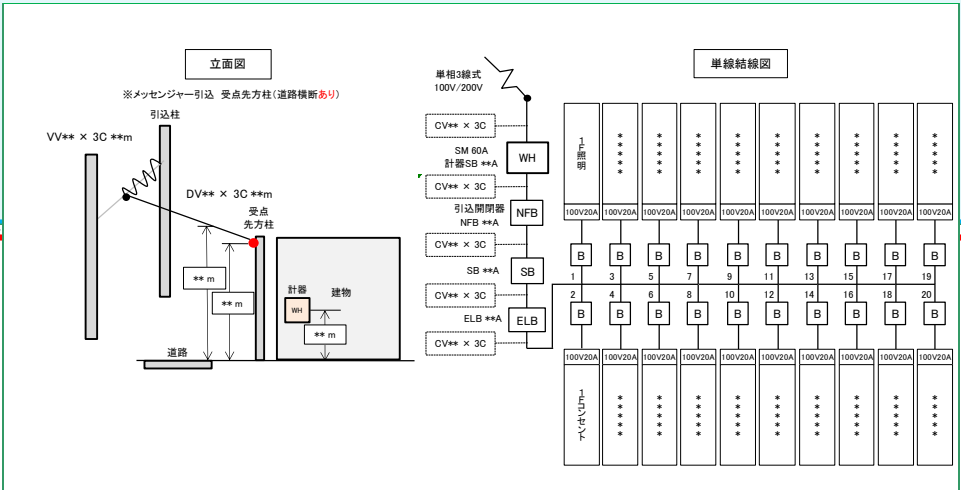
3-3 B電気工事設計書帳票エリア C補助機能ボタンエリア

②電気工事設計書帳票エリア ③補助機能ボタンエリアについて

①

電気工事設計書										
工事会社		建物の種類				1. 引込線の取付位置を変更して下さい	6. 幹線の電線を太くして下さい (mm以上)			
住所 (施工場所)		床面積	㎡	㎡	㎡	2. 計器の取付位置を変更して下さい	7. 開閉器容量を大きくして下さい (A以上)			
お客さま 氏名		標準VA数	V A	V A	V A	3. 分岐回路数が不足です (回路以上)	8. 分岐開閉器を配線用しや断路器にしてください			
記事欄		追加VA数	V A	V A	V A	4. 分岐回路数算定内訳を記入して下さい	9. 選相コンデンサの容量が不適当です(μ F)			
		総VA数(合計)	V A	V A	V A	5. 幹線の太さを記入して下さい	10. その他は直接図面に記入してあります			
		回路数	以上	以上	以上					

補助機能ボタンにて作成可能



② 「工事設計書」編集！
画像取込 クリア

③ 「立面図」編集！
※新なし！ 2. 建物(道路横断あり)

② 2回路 4回路 6回路 8回路 10回路
12回路 14回路 16回路 18回路 20回路

③ 「単線結線図」編集！

説明

①電気工事設計書帳票イメージ	入力項目を自動表示します。
② 画像取込ボタン	ボタン押下し、画像データを選択することで、電気工事設計書エリアに画像取込ができます。
② クリアボタン	ボタン押下すると電気工事設計書エリアの画像を削除できます。
③補助機能ボタン	各種ボタンを押下すると電気工事設計書エリアにテンプレートを貼り付けることができます。張り付け後は、任意に追加・削除・入力等を行い編集してください。

<ポイント> 電線接続図と配線図を記載してください。

・電線接続図とは、当社計測器、受電盤・配電盤・保護装置・機器などの接続関係および容量、幹線および分岐回路の電線種別・太さおよび条数、分岐回路に接続される負荷設備および容量が記載された図のこと。

・配線図とは、引込線の太さおよび巨長、引込柱・引込線取付点・引込口の位置、当社計測器、受電盤・配電盤などの位置、電灯・コンセント・機器、電線の位置・工事方法・種類・太さおよび条数、接地工事の種類・位置および接地線の太さが記載された図のこと。